

早いもので、PTA役員となり2年半が過ぎました。3年目となりPTA会長となるのは分かつてはいたものの、いろいろな行事に参加させていただき大変さを痛感しております。正直、自分自身が日川高校の卒業生でないことからプレッシャーを感じます。正直、自分自身が日川高校の卒業生でないことが理解、協力により何とか大役を務めさせていただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、今年度は日川高校において着手されたグラウンドの芝生化が大きな話題です。県内県立高校最初となる魅力ある施設整備が日川高校で行われることは、120年を超える伝統と活躍の歴史により実現したものだと思います。この整備による地域やOBなどの方々との関りを



## 日川高校PTA活動を通じて感じたこと

PTA会長 飯塚 健二

**日高PTA便り**

発行所  
日川高校PTA  
事務局  
山梨市一町田中

に着けた気力体力はこれから的人生において大いに役立つことと思いました。また、ご協力いた保護者の数が250名を超える人数だったとのことで、多くの声援サポートを受け、感謝の気持ちも実感できたと思います。

残り半年となり、3年生はそれぞれの進路に向け、2年、1年生は次のステップに向け取り組んでいること思います。この素晴らしい校風で培つたものすべて發揮し、「質実剛毅」の精神のもと何事にもトライしてください。



## 日川高校の挑戦と成果をご報告します

校長 山田芳樹

PTAの皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本校は今年、創立124年を迎えた。「自主自律」の建学精神のもと、時代の変化に対応しながらも、揺るぎない教育理念を貫いてまいりました。現在はSSH(スーパー・サイエンス・スクール)第3期の4年目を迎え、生徒たちは自ら課題を見つけ、主体的に探究する力を育んでおります。この探究心と自律性こそが日川高校の教育の核であり、生徒一人ひとりの輝きを引き出す原動力となっています。

光景は、黙々と走り、早々ゴールにたどり着いた生徒、苦しさの中にも笑顔を見せながら走り歩いた生徒、杖を作り途中しゃがみこんでやつとゴールした生徒、途中離脱した生徒、皆、各々が自身の体力、精神力、判断力を發揮し体験した素晴らしい行事だと感じました。この行事で身

おります。

また、今年度も恒例の強歩大会を開催し、生徒たちは秋の自然の中を力強く歩き抜きました。仲間と励まし合いながら長距離を踏破する姿は、まさに「自律」の精神の実践であり、生徒たちの背中を押してください。

さらに、令和8年3月にはグラウンドの人工芝化が実現し、多くの同窓生の皆様からのご支援が寄せられています。この整備は、生徒の活動環境の向上にとどまらず、本校が「県民に開かれた学校」としての使命を果たす重要な取り組みでもあります。地域の皆様に広く活用いただける施設として、日川高校がこれからも地域に根ざした教育拠点であり続けることを目指しております。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りながら、生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす教育を推進してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願ひ申上げます。

国的な活躍は、地域の皆様にとって大きな誇りであり、生徒の輝きが地域社会に希望と喜びをもたらしていることを実感して

